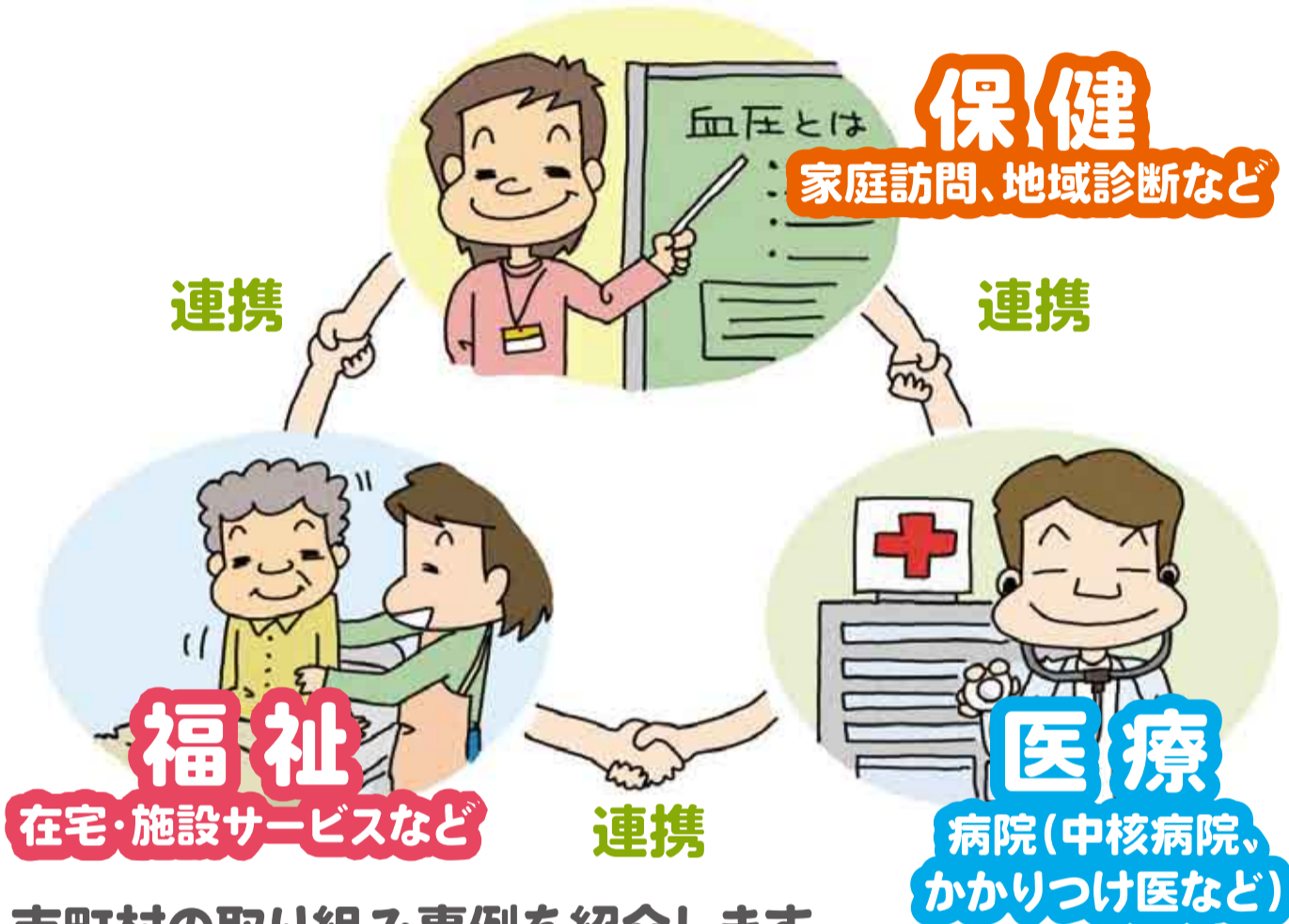


保健・医療・福祉のサービスの連携

県では、県民の皆さんが、生涯にわたって健康で安心した生活が送られるよう、保健・医療・福祉のサービスを必要な時に、必要な内容で一体的に受けられるような仕組み（これを「保健・医療・福祉包括ケアシステム」と言います。）づくりに取り組んでいます。

皆さんがお住まいの市町村でも、保健・医療・福祉のサービスを提供する機関が連携することにより、それぞれの市町村に合った「保健・医療・福祉包括ケアシステム」づくりが進められています。



一人ひとりを支える「保健・医療・福祉包括ケアシステム」

市町村の取り組み事例を紹介します



安心して安全に暮らすことができる町づくり(セーフコミュニティ)を推進しています。

十和田市

保健・福祉部門、医療機関、ボランティア団体などの関係者との連携強化

平成15年度から、分野や垣根を越えた地域ぐるみの取り組みを目指し、保健部門、福祉部門、医療機関やボランティア団体などと連携し、こころの健康づくりを推進しています。

平成21年8月、WHO(世界保健機関)セーフコミュニティ協働センターから「セーフコミュニティ認証」を受け、さらに関係機関との連携強化を図っています。



医療機関と連携し、糖尿病対策を重点的に展開しています。

板柳町

保健師と医療機関を中心とした連携体制

平成13年度から健診結果説明会を中心に、健診結果等から、自己の生活習慣や身体の状態を皆で学習しながら、健康的な生活を維持できるよう予防活動に取り組んでいます。

その結果、糖尿病予備群の早期発見につながり、医療機関への早期受診や重症化の予防に結びつくなど、町民の健康増進を図っています。



在宅支援を重視し、保健福祉部門、地域包括支援センター、診療所、老人保健施設を複合施設に集約しました。

東通村

官民一体となった保健・医療・福祉サービスの提供

平成12年、現在の東通村診療所の開設を機に、医療を安心して受けられる24時間365日の環境を目指し、保健・医療・福祉の情報を共有しながら、あらゆる面から必要なサービスを提供できる体制を推進しています。

ワンストップサービスにより、村民が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援しています。